



▲ すっかり秋めいてきました。色も鮮やか彼岸花 (9月7日)



金光寺寺報
第242号
発行所 金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
5927番地
☎ 0982
83-2338

今月法語カレンダーのことば

如来の願心が 我一人に 成就したのが 信心である
安 田 理 深

今月のことばは、真宗大谷派の学僧・安田理深師の著『正信偈講義』第二巻の中で、「正信偈」本文の天親章、「為度群生彰一心（群生を度せんがために一心を彰す）」の一心について、願心と対応させて述べられたものです。

そして、「願心に感動すれば一心というものであり、一心の中に願心全体が成就されている。願に感動すれば、感動した一心に願全体が輝く。（中略）願心によって信心が成就し、信心によって願心を証明する」という文が続いています。

願心とは、『仏説無量寿経』に説示される第十八願の心をあらわします。第十八願には、あらゆる衆生をさとり浄土に往生させずにはおかないという法蔵菩薩の願いの全体が凝縮されています。

安田師が「一心の中に願心全体が成就され

てある」といわれるのは、われら衆生が仏さまの願心を聞信すること、つまり智慧と慈悲の功德のありったけが信樂の一心にきわまり、そこで救いが成立するという真宗の要を述べられたものにほかなりません。

仏さまにとっては、衆生の痛みはわが痛みであり、衆生のよろこびはわがよろこびであり、他人事という世界がありません。しかも救ったからといって見返りを求められることがなく、たとえ背を向けられても、あきらめず辛抱強く衆生の目覚めを促されるのです。

願いも頼みもしなかった私の上に、「どうか目ざめておくれ」と立ちづめ、喚びどおしのみ仏の願心に、ただ同心させていただくばかりです。

(本願寺出版社刊「大乘」誌掲載
『月々のことば』より抜粋 転載)

仏事お休みのお知らせ

下記の日には緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。

◎ 9 月
23日 午前中



本年8月に次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。

2021年 8月 1日満 88歳
木合屋 木 村 ミサ子 様
2021年 8月 7日満 93歳
大石の内 松 岡 春 子 様

ホームページ開いています。

URL <https://konkouji.jp/>

9月7日現在アクセス数 121,215人

をりたかた九が今時はんおしとり雨参わいてのこもにたよらたのとをシ
持まのら。・！回は台な参た八のがりりきい幅とつ分。な、電いつヨ先
つせで終例〇幸よ強風初りの月初降はまたまがもとか早とい「話うけン月
たん、日年mmいり風接盆をででり日散すいす広教いり速も花グを花てに号
こよ「降」と、もも近はすすー」続々がと。がえろま、教のいいでい「の表紙写
ことう来り夕小今ひ吹の二る。番にきで、思こってんす調え名グたすた「花の名
に年続立降年どき時回よ十のは十し今いれたいな。べて前ルだよら、の
た。とこ雨あに翌つししでに歳雨一日。のすらうだとだみた分機まと「と
強んはつな十たたたすなで量五、六初▼利なきにけるだか能しおヒと「のキ
いななてり四のの。り初を・初日盆話用気、使でときりでた知オ「と「ヤ
思にかもま日でこー、盆記五盆かのはしが生えな確ま分。らウ？「
い降つ朝しはす、の度この録mm参らお変てし活るくかすかませギ「

(住職 松井卓郎)

金光寺のひと月

Table with 2 columns: Date (1-30) and Name/Event. Includes names like 木村ミサ子様, 松岡春子様, 大塚國光様, etc.

住職ひとりごと